



農業農村活性化支援モデル事業

和歌山県

皆様のアイデアで地域づくりに 取り組んでみませんか？

皆様が住んでいる地域で取り組んでみたい「地域保全活動」を募集します。

中山間地域などの農村地域では、過疎化や高齢化により地域に活気が失われつつあり、営農や農地・農業用施設など、地域により保たれてきた「むら機能」が低下しています。

こうした状況を解決するために、地域に活気を呼び起こし、農業用施設や農地の利活用及び保全につながるモデル的な活動を通して、地域に主体となっていていただきながら地域の思いを共に実現していくため、皆様が住んでいる地域※で取り組んでみたい「地域保全活動（農村の地域資源を保全する活動）」を募集し、県のモデル事業として実施しています。

※県内の中山間地域（和歌山市を除く市町村）が対象です。

事業実施の流れ

提案者

- ・ 県内に事務局のある特定非営利活動法人（NPO法人）
- ・ 県内に所在する農村集落や生産組織
- ・ 非営利の社会貢献活動を行う団体（ボランティア団体）

①企画提案書

⑤二次審査
企画提案内容の説明

第三者委員会

中山間ふるさと・水と土保全推進部会

②一次審査

④二次審査依頼

⑥意見・判定

和歌山県

農林水産政策局 農林水産振興課 里地里山振興室

③審査結果連絡
二次審査連絡

⑦審査結果連絡
委託契約締結

委託金額について

事業期間 3 年 の 場合 は	総額 1 0 0 万円
事業期間 2 年 の 場合 は	総額 8 0 万円
事業期間 1 年 の 場合 は	5 0 万円

○複数年度にわたり計画している事業については1年目の事業決定をもって2年目以降の事業実施を確約するものではありません。

取組事例紹介①

umeboys（みなべ町）

活動内容

SNSを通じて新規就農希望者を募集して、耕作放棄地となっている梅畑を活用し、地元農家からの指導を受けて技術を習得。梅農家として独立できる仕組みづくりを行い、耕作放棄地、後継ぎ不足解消のモデルを構築します。

1 年目

umeboysメンバーにより耕作放棄地の梅畑を除草剤散布、剪定、草刈りを行うことで、耕作可能な状態に戻しました。
メンバーとして、地域外から移住してきた新規就農希望者も作業に参加し、地元農家から草刈りや剪定技術の指導を受けました。



梅の剪定作業



当事業により作成したホームページ



地元の梅農家よりネットの張り方から収穫までの工程について丁寧なサポートを受ける

2 年目

新たな耕作放棄地による園地の拡大を行うとともに、1年目の活動をもとにホームページを作成することにより、新規就農希望者の招致を行いました。

3 年目

事業開始当初に予定していた耕作放棄地の面積を大幅に上回る梅畑を開墾することができました。新規就農希望者は、来年以降もみなべ町の梅畑で農園長として営農を継続してもらうこととなりました。



現在の活動

取組事例紹介②

援農市坪（海南省）

活動内容

みかんの産地である海南省下津町で、収穫シーズンである繁忙期（11月～12月）に農業や季節労働、田舎暮らし、共同生活に興味を持つ若者を募集し、地域の空き家をシェアハウスとして活用することで収穫作業の手伝いを行い、地域での就農につながるよう支援を行います。

シェアハウスの様子

1 年目

収穫作業やコンテナ運搬など、高齢の農家にとって負担が大きい農作業について支援を行いました。さらに、援農事業に関わるコーディネーターをインターンとして受け入れ、移動の支援や日常生活の支援を行い、受け入れ農家の負担を減らす等、農作業に取り組みやすくしきみ作りを行いました。また、SNS等を通じて情報発信を行い、援農事業の知名度向上を図りました。



援農者の畑での様子



2 年目

SNS等を通じて広く情報発信を行い、援農者を募集しました。また、援農活動の周知と空き家募集を目的としたチラシを作成し、近隣住民に配布しました。コーディネーターの支援等により、援農者の満足度を高めることができたこともあり、援農参加者の4割近くが1年目のリピーターでした。



交流会

3 年目

援農者と地域住民が交流する親睦会を開催したことをきっかけに援農者同士での交流も生まれました。全国から農業に興味のある若者を援農者として受け入れることにより、農業者の労働力の補完、関係人口の創出につなげることができました！



現在もInstagramにて情報発信継続中！

実施状況

海草エリア

- ① NPO法人自然回復を試みる会・ビオトープ孟子
- ② 給食スマイルプロジェクト～県産小麦そだて隊！～
- ③ みかんのもりプロジェクト
- ④ 援農市坪
- ⑤ 小川の郷づくり会
- ⑥ 紀美野町自然環境ネットワーク
- ⑦ こぶな草を守る会
- ⑧ 星の里を作ろう会（星里会）

那賀エリア

- ⑨ おいけファーム
- ⑩ 名手上的の将来を考える会

伊都エリア

- ⑪ 山里・暮らしの学校

有田エリア

- ⑫ ポッポみち会

日高エリア

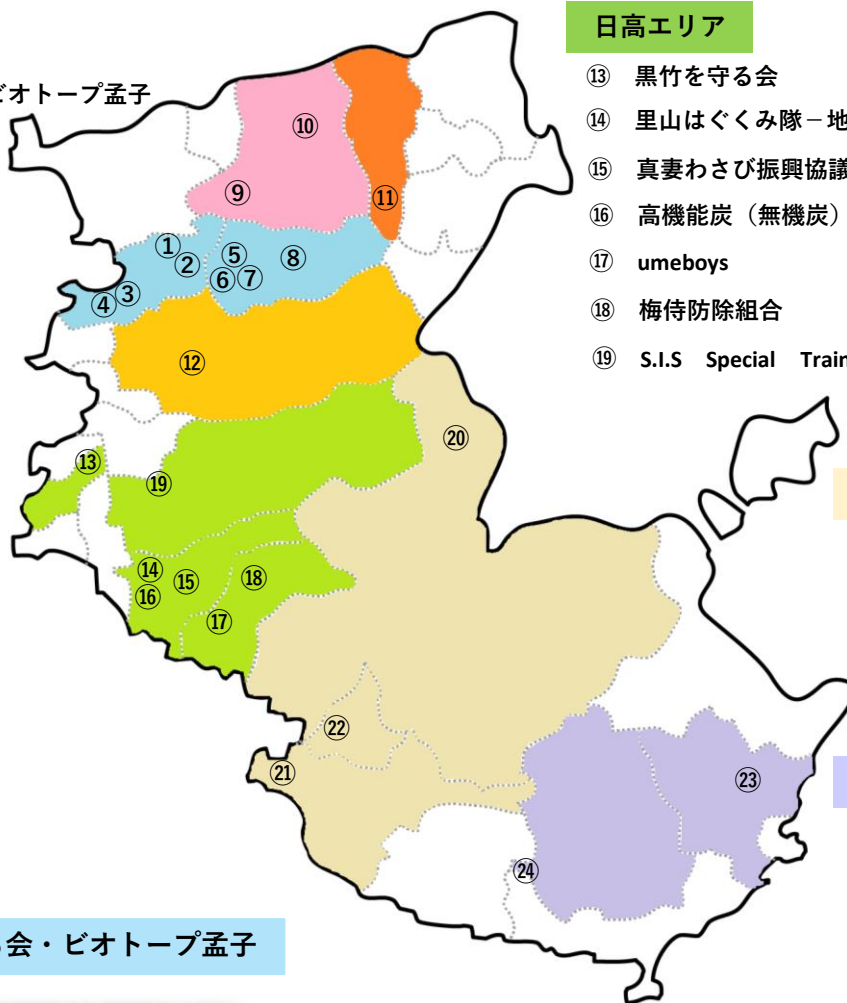
- ⑬ 黒竹を守る会
- ⑭ 里山はぐくみ隊－地域・自然・遊び－
- ⑮ 真妻わさび振興協議会
- ⑯ 高機能炭（無機炭）和歌山研究所
- ⑰ umeboys
- ⑱ 梅侍防除組合
- ⑲ S.I.S Special Training

西牟婁エリア

- ⑳ みらい龍神
- ㉑ わいわいファーム
- ㉒ 一瀬里山会

東牟婁エリア

- ㉓ くまの里山
- ㉔ 三尾川未来への会



① NPO法人自然回復を試みる会・ビオトープ孟子



○ 活動地域 海南市孟子

耕作放棄地を耕作地（ソバ畑）とふゆみず田んぼ（田んぼビオトープ）として復元することで田園景観の復元と田園自然再生を目指します。

② 給食スマイルプロジェクト～県産小麦そだて隊！～



○ 活動地域 海南市高津

小麦づくりのイベントを開催し、県産小麦への関心を広げるとともに、新たに小麦生産を始めたい方へのサポートや学校給食等への販路開拓を行います。

③ みかんのもりプロジェクト



○ 活動地域 海南市下津町小畑

摘果みかんを収穫し加工法について研究を行うことによって、パウダーやオイル等の商品化を試み、新たな経済的価値を見出し地域活性化につなげます。

④ 援農市坪



○ 活動地域 海南市下津町市坪

繁忙期の人手不足が深刻な中山間地域のみかん農家において、空き家を借り、シェアハウスとして利用し、全国から若者を援農者として受け入れることにより収穫作業等の支援を行います。

⑤ 小川の郷づくり会

○ 活動地域 紀美野町中田

中田地区の棚田を再生し、観光資源や郷土学習の素材とするとともに、後世に残す財産として未来につなげます。

⑥ 紀美野町自然環境ネットワーク



○ 活動地域 紀美野町中田

生物調査や、昆虫の観察イベントを開催することにより、エコツーリズムによる棚田地域の活性化モデルを模索・構築します。

⑦ こぶな草を守る会



○ 活動地域 紀美野町下佐々

こぶな草の収穫体験や染色体験イベント・ワークショップを開催することで、こぶな草の存在や価値を周知するとともに、自然環境保全の啓発につなげます。

⑧ 星の里を作ろう会（星里会）



○ 活動地域 紀美野町滝の川

遊休農地を利用してホップを栽培し、紀美野町オリジナルクラフトビールの生産を行い、地域の特産品として地域振興につなげます。

⑨ おいけファーム



○ 活動地域 紀の川市貴志川町

耕作放棄地を再生し、農業体験イベントを開催するとともに、古民家を改修し、農作物直売所や工芸品製作ワークショップの場として再活用することにより、グリーンツーリズム等による地域活性化を図ります。

⑩ 名手上的の将来を考える会



○ 活動地域 紀の川市名手上

耕作放棄地で伐採した竹を再利用し、加工品の開発を行うとともに、竹灯籠祭りを開催し、地元団結力を呼び起こし活性化につなげます。

⑪ 山里・暮らしの学校



○ 活動地域 かつらぎ町新城

耕作放棄地を「野菜・ハーブ・果樹が植わったガーデン」に整備し、地域内外の人の憩いの場を創出します。また、都市部の人の野菜づくりを楽しめるクラブを作り、一緒に耕作することで農地の維持を図ります。

⑫ ポッポみち会



○ 活動地域 有田川町庄

有田川鉄道沿いの遊休農地を地域住民と一緒に整備し、野菜等の作物を栽培して朝市へ出店し、住民とのふれあいを広めることで地域活性化を図ります。

⑮ 真妻わさび振興協議会



○ 活動地域 印南町川又

耕作放棄地となった過去のわさび畑を復活させ、広報活動を行うことにより、印南町の地域産業の活性化、ブランド力の向上を目指します。

⑬ 黒竹を守る会



○ 活動地域 日高町原谷

遊休農地を活用して黒竹を栽培し、生産量の確保につなげるとともに、伐採した竹を使った工芸品作り体験や加工体験を通じて日高町が黒竹の特産品であることの周知を図ります。

⑯ 高機能炭（無機炭）和歌山研究所



○ 活動地域 印南町田ノ垣内

耕作放棄地の谷間となった農地で、少量の湧水とコルゲートパイプを利用したわさびの栽培方法を検証することにより、わさび栽培の伝統の保全を図り、地域農業の発展につなげます。

⑭ 里山はぐくみ隊－地域・自然・遊び－



○ 活動地域 印南町美里

小麦の収穫を通じて、食の安全や健康、環境について学ぶとともに、里山で蛍の観察会や絵本の読み聞かせなどの体験活動を行うことにより地域のつながりを作り、地域全体でこどもたちを見守る村づくりを目指します。

⑰ umeboys



○ 活動地域 みなべ町

耕作されなくなった梅畑を耕作可能な状態に戻し、新規就農希望者の技術習得に活用することで梅農家として独立できる仕組みを作り、地域の耕作放棄地、後継ぎ不足解消のモデルを構築します。

⑱ 梅侍防除組合



○ 活動地域 みなべ町

農業の生産条件が比較的不利な中山間地域において、ドローンにより薬剤散布を引き受けることで、農作業の負荷を軽減し、営農が継続できるような体制を模索・構築します。

⑲ S.I.S Special Training



○ 活動地域 日高川町和佐

こどもたちが田んぼで野球やサッカーをしている風景を復活させるため、日高川町の農閑期の耕作地において、小中学生に農作業と併せてスポーツのワークショップを行うことで地元の農家との関係性を築き、日常的に農地との関わりをもつことを目指します。

⑤ みらい龍神



○ 活動地域 田辺市龍神村

龍神村で古くから家庭消費用に生産されてきたサトイモ品種「クロヅル」を「龍神のサトイモ」としてブランド化や品種登録を進めることにより、龍神村の基盤である農業と観光業の活性化を図ります。

㉑ わいわいファーム

○ 活動地域 白浜町

生育環境が異なる耕作放棄地に、地域に適しているニンニクやツワブキ、イタドリを栽培することによって、収益性が高く加工がしやすい作物を模索し、第6次産業化を進めます。



㉒ 一瀬里山会



○ 活動地域 上富田町一瀬

野菜を作りたい非農家を対象に体験型農園を開設し、地元農家による野菜作りの指導を農業体験を通じて、非農家の農業理解を深めます。

㉓ くまの里山



○ 活動地域 那智勝浦町高津気

里山の原風景を後世に残すため、耕作放棄地でオーナー制度による野菜栽培を実施し、都市住民の農業への意識改革と里山維持管理のための人力確保を図ります。

㉔ 三尾川未来への会



○ 活動地域 古座川町三尾川

化学肥料や農薬に頼らない農法でバラを栽培し、ジャムやバター等の加工品を開発することにより、三尾川地区をバラの村としてPRします。

お問い合わせ先

事業内容や提出書類の記入方法など、ご不明な点があればお気軽にお問い合わせください。
振興局農地課（東牟婁においては農業水産振興課）で、担当（地域づくり支援員）が
ご相談に乗らせていただきます。

和歌山県 農林水産部農林水産政策局
農林水産振興課 里地里山振興室

☎ 073-441-2943

FAX 073-433-3024

✉ e0701004@pref.wakayama.lg.jp

詳しくは
こちら県
HPへ



お近くの和歌山県の窓口（地方機関）

海草振興局農地課

☎ 073-441-3360 FAX 073-441-3368

那賀振興局農地課

☎ 0736-61-0017 FAX 0736-61-0018

伊都振興局農地課

☎ 0736-33-4913 FAX 0736-33-4912

有田振興局農地課

☎ 0737-64-1265 FAX 0737-64-1282

日高振興局農地課

☎ 0738-24-2914 FAX 0738-24-2916

西牟婁振興局農地課

☎ 0739-26-7912 FAX 0739-26-7919

東牟婁振興局農業水産振興課

☎ 0735-21-9614 FAX 0735-21-9642

応募先

団体が所在する地域の振興局農地課
（東牟婁においては農業水産振興課）

海草振興局農地課

✉ e1301931@pref.wakayama.lg.jp

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

那賀振興局農地課

✉ e1302931@pref.wakayama.lg.jp

〒649-6223 岩出市高塚209

伊都振興局農地課

✉ e1303931@pref.wakayama.lg.jp

〒648-8541 橋本市市脇4丁目5番8号

有田振興局農地課

✉ e1304931@pref.wakayama.lg.jp

〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅2355-1

日高振興局農地課

✉ e1305931@pref.wakayama.lg.jp

〒644-0011 御坊市湯川町財部651

西牟婁振興局農地課

✉ e1306931@pref.wakayama.lg.jp

〒646-8580 田辺市朝日ヶ丘23-1

東牟婁振興局農業水産振興課

✉ e1307911@pref.wakayama.lg.jp

〒647-8551 新宮市緑ヶ丘2丁目4-8



「農業農村活性化支援モデル事業」は、中山間地域やNPO法人の皆さんが地域保全活動を行うことで地域の活性化やむら機能の維持継続につながることを目的としています。本プロジェクトは国際目標であるSDG s（持続可能な開発目標）を推進する活動にもつながります。



（外務省HP） <https://www.mofa.go.jp>sdgs>about>

